

# Just Now

## 小諸市における 外国語活動の取り組み —ALT配置に恵まれた町の 問題点と可能性

渡邊 時夫 Watanabe Tokio  
(信州大学名誉教授)

### 1. はじめに

筆者の住む長野県小諸市の外国語活動の現状と取り組みについて紹介したい。

小諸市には6つの小学校と2つの中学校がある。小学校には全体で3名の専属のALT (Assistant Language Teacher) が、そして中学校には各校に1名のALTが配置されている。小諸市は、「信州教育」の中の「信州教育」を自負し、「雪に耐えて梅花麗し、霜を経て楓葉紅し」の精神を尊しとする「梅花教育」を伝統として、教育に熱を入れている地方都市である。市民は教育に熱心で、市民がボランティアとして始めた「市民大学」は33年間続いており、毎年120名程の受講者を誇っている。筆者はこの町で生まれ育った恩返しに今年「保護者のための外国語活動」を提案したところ、小諸市教育委員会は早速実践し、小学校5・6年生の児童を持つ多くの保護者に楽しんでいただいた。

筆者はここ数か月にわたり、連日のようにすべての小学校の外国語活動の授業を参観する機会を得た。Team-Teachingに関わっているHRT (Homeroom Teacher) とすべてのALTとの対話を通していくつかの問題点に気付いた。それらの問題点は、小諸市に特有というよりは、外国語活動に関して多くの小学校に共通している課題ではないかと考えている。

### 2. 外国語活動

#### —Team-Teaching が抱える問題

HRTによっても差はあるが、外国語活動やALTとのTeam-Teachingについて多くのHRTは悩み、不安、不満などを抱えている。また、ALT側からも発言いただいている。

#### (1) HRT の悩み

- ① 多忙で外国語活動の準備等の時間がない。空き時間がなく、外国語活動の授業の直後にALTと授業の振り返りや次回の予定について話し合いたいが、その時間が取れない。
- ② 英語の運用力が不足しており、短時間でALTと話し合うことができない。また、主体的になって授業を進めなければならないことは承知しているが、英語力が不十分なため、思うようにALTをリードすることができない。
- ③ 本意ながらALTに頼りきりになってしまっている。その結果、ALTの授業の進め方に問題があっても見過ごしてしまいがちである。
- ④ ALTは、*Hi, friends!* (文部科学省) に沿った年間のカリキュラムを下地にしているようだが、カリキュラムやトピックの選択に関してALTや他校としっかり検討したことがない。しかし、中学校との接続を考えても、市内の小学校が共通したカリキュラムに沿って外国語活動を進める必要があるのではないか、という不安を持っている。
- ⑤ 小学校における英語教育の必要性を強く認識しており、自分の英語力を磨かなければならないと思っているが、研修の時間が取れないで、悩んでいる。

#### (2) ALT の発言要旨

- ① HRTにもっと積極的に授業に参加してほしい。
- ② 授業の後に一緒に振り返りをしたいが、HRTにはその時間を取ってもらえない。
- ③ 授業に真剣に取り組んでいない児童が気になる。しかし、しっかり指導ができないHRTがいる。
- ④ Teaching Planを事前に渡しても、当日持っ

てこないHRTがいる。

### 3. 具体的な対策

(1) 両者の不安や不満の分析—対策を求めて

両者の不安、不満、相手に対する要望などを大胆に下記の通りにまとめることができる。

- ① HRTは、主体的に授業に取り組みたいと願ってはいるが、英語力に自信がないため、どうしても消極的になってしまっている。
- ② 学習に対して消極的になったり、自信を失いつつある児童に気付いてはいるが、注意したりするとどうしても日本語を多用することになり、つい傍観者のな態度をとってしまっている。
- ③ 時間がなく、複雑な内容の話し合いはできないので、一つの授業のパターンを示してもらえば、授業力がアップするまで、ALTと相談しながら進めたい、という願いを抱いているようである。
- ④ ALTは、一人で説明するよりはHRTと協働して英語で活動のモデルを示すなど、工夫をすれば児童たちの英語理解が深まるだろうと期待している。
- ⑤ ALTは、HRTが児童たちの前に立って、積極的に英語を使う時は、児童たちの集中力が高まることに気付いている。
- ⑥ 協働しながら授業を進めることができれば、HRTの授業への関心や熱意が高まり相談もやすくなると考えている。

(2) 具体的な提案

ALTとHRTの両者に次のような具体的な提案を示した。

- ① ALTは授業の少なくとも1日前に、HRTに英語で書いたTeaching Planを渡す。
- ② HRTは、Teaching Planについて、事前にコメントをALTに伝える。
- ③ 授業が始まると同時にHRTはALTと並んで児童たちの前に立ち、本時の主な活動を英語で伝え、例えば、Let's teach together, shall we? と言って授業に入る。
- ④ 授業の過程では、HRTは、各種活動ごとに、ALTと二人で活動のモデルを示したり、英語の

理解が難しそうな児童を発見したら、ALTに再度、できれば発想を変えて説明を繰り返すようサジェスションを与えるなど、(机間巡視等の必要な時を除き)できるだけALTの隣に立って、簡単な英語を使って授業のかじ取りを行う。

- ⑤ 授業の終わりには、児童に向かって例えば、We did many activities today. Did you have a good time? What activity did you like (the best)? などの言葉で「振り返り」を行い、ALTに、Please give a short comment. などALTにも振り返りの機会を与えて、授業を締めくくる。

なお、ALTには英語で、HRTには日本語で、指導案と授業を行うに際しての注意事項などを作成して渡し、互いに理解を深めた合った上で授業実践に入った。このような経過を経て進めたためか、3名のALT同士、あるいは提案者である筆者とのメール上の意見交換が頻繁に行われるようになった。

下記に、Teaching-Planの活動部分だけを示す。

ALTの活動	HRTの活動
Hello everyone, let's enjoy English. 1. What are we doing today?	Hello everyone, let's enjoy English. 2. (read menu)
2. I'm hungry, thank you. And you? 4. See you.	1. Hello Mr. Cini. How are you today? 3. I'm happy, thank you. 5. See you.
What day is it today? What is the date?	What's this? It's a calendar. Let's see, it's May 24th.
1. Hey...(先生). Do you like my T-shirt design? 3. Really? What shape do you like? 5. What color do you like? 7. Do you like my new T-shirt?	2. No I don't. I don't like green circles. 4. I like stars. 6. I like yellow.
What color do you like? I like red. I like blue. → I like red and blue. ..... I like green. I like yellow. → I like green and yellow.	
2. OK, ... What shape do you like? 4. What color do you like?	1. Let's design a T-shirt. 3. I like triangles. 5. I like ...
Praise kids	褒める
3. Everyone enjoyed Bingo game. That's very good. I am very happy that you asked me many questions in English. Everyone did good job. See you next week.	1. Today we studied many things. What did you like? Choose two things. 2. Godfrey, how was the lesson? Please give your short comment. See you next week.

※数字は、両者の話す順序を示す。

### 4. 結果

授業については大きな変化が見られた。ほぼすべてのHRTが上記Planに沿って、英語を積極的に使いながら授業をするようになった。ALTも「分かってもらえる英語」に一層工夫するようになり、児童たちの注意力も格段に上がったようである。